

平成29年5月21日
今週のベストショット



青松園A 三友クラブ 対 雁の巣ライナーズ

最終回、ライナーズ宇野選手の痛烈な打球は、センターのグラブを弾き逆転サヨナラHRに。

写真：レッドサンデーズ 古賀 開

青松園A 逆転につぐ逆転のシーソーゲームを制したのは・・・

三友クラブ (1勝2敗) 0 1 2 0 2 5 足達、久岡●ー谷崎、遠山

雁の巣ライナーズ (2勝1敗) 0 0 0 4 2 x 6 x 有馬○ー明瀬 (航)

HR：松尾2 (三友ク) 宇野 (雁の巣) 2BH：谷崎 (三友ク) 宇野、有馬 (雁の巣)

口火を切ったのは三友クラブ。二回表、六番松尾選手のライトへの大きな打球は、一度は宇野右翼手のグラブに入るも弾いてしまい、これがHRとなり先制。続く三回表には、二死満塁の場面で、五番山崎選手のレフト前で2点追加し、3対0として試合を有利にすすめる。四回表には無死一二塁の場面で、一番平田選手のショートへの高いバウンドが内野安打となり何と無死満塁。大量得点の予感がするも、後続がライナーズ有馬投手の気迫のピッチングに抑えられ、無得点に終わる。四回裏、三友クラブは勝利を確実なものにするためか、足達投手から久岡投手にスイッチ。するとここから、今まで沈黙していたライナーズ打線の反撃が始まる。先頭の四番宇野選手が三塁線を抜く二塁打で出塁すると、その後2つの四球で満塁として、七番有馬選手が狙いすました右中間への二塁打を放ち、2点を返し尚も二三塁。っここで八番太田選手のセカンドゴロ間にランナーが振り返り同点に追いつく。続く九番池内選手がライト前を放ち、何と逆転に成功してライナーズベンチは大盛り上がり！このまま

終わるかと思われたが、三友クラブはまだ諦めていなかった。五回表、六番松尾選手のこの日2本目となるソロHRで、あっという間に同点に追いつくと続く七番谷崎選手がレフト線二塁打、九番代打で登場の山本選手の打球がピッチャーへの高いバウンドで守備の乱れを誘い、再度逆転に成功する。しかし最終回ライナーズは、三番明瀬（航）選手が四球で出塁すると、四番宇野選手が放った打球は、右中間への強烈なセンターライナー。この日2HRのセンター松尾選手のグラブを弾くと、ノーバウンドでHRラインを超える逆転サヨナラHR。ライナーズが5-6xで熾烈なシーズンゲームを制した！（記事：レッドサンデーズ 前田 篤史、写真：古賀 開）



雁ノ巣ライナーズ先発の有馬投手。



三友クラブ先発の足達投手。



初回からスラップで相手を翻弄する三友クラブ平田選手。



二回、五回表と2本のHRを放った三友クラブ松尾選手。



足を絡めた攻撃の三友クラブ久岡選手。



三回表、2点タイムリーを放つ三友クラブ山崎選手。



スーパーキャッチ後広瀬監督とハイタッチの明瀬航捕手。



四回裏、2点タイムリーを放つライナーズ有馬選手。



四回裏、逆転タイムリーを放つライナーズ池内選手。



五回裏、サヨナラHRを放ったライナーズ宇野選手の剛腕。

奈多グラウンド 和白新町パイレーツ完封で圧勝！

新町パイレーツ（1勝1敗） 4 0 4 1 0 0 9 吉田○—大濱

塩浜ジャガーズ（3敗） 0 0 0 0 0 0 0 立石●、荒木—橋村

3BH：大濱（新町パ） 2BH：小林（新町パ） 盗塁：本堂（新町パ）

一回表、新町パイレーツは塩浜ジャガーズ立石投手の立ち上がりを攻め、先頭的小林選手が四球で出塁すると、続く岡山、八坂選手がヒットで無死満塁とする。四番白岩選手の打球は相手エラーを誘い、まず1点。さらに七番三重野選手と八番吉田選手が適時打を放ち打者一巡の猛攻で4点を先制。さらに三回表、本堂選手のヒットを皮切りに四球、相手エラーが絡み、一番小林選手の二塁打で4点を追加。四回にもパイレーツは1点を追加し9-0と大きくリード。対するジャガーズはパイレーツ吉田投手の投球を最後まで打ちあぐね、2安打完封を喫した。守備もエラー5を記録。重要な場面で不要な点を献上してしまった。

（記事・写真：ソルトベ이스ターズ 田中 裕次郎）



見事完封したパイレーツ吉田投手。



一回表適時打を放つパイレーツ吉田選手。



一回表バンド処理するジャガーズ橋村捕手。



送球がそれホームインするパイレーツ小林選手。



ファールを懸命に捕ろうとするも・・・福田一塁手。



三回表2点適時打を放つパイレーツ小林選手。



三回表、背面キャッチするジャガーズ石内左翼手。



三回表、横っ飛びキャッチするジャガーズ荒木遊撃手。



四回裏ゴロを処理するパイレーツ白岩二塁手。



五回裏、ファールフライを捕球するパイレーツ岡山左翼手。



六回表三塁打を放ち自賛のパイレーツ大濱選手。



勝ってもミーティングは欠かせない。

青松園B 強豪対決は、フェニックスが力を見せつけ圧勝！

奈多サンデーズ (1勝2敗) 000000 0 砂場●ー野々下

奈多フェニックス (2勝1敗) 15020X 8 松本○ー今林(勇)

HR: 西藤、松本(奈多フ) 3BH: 実延(新)(奈多フ) 2BH: 実延(彰)(奈多フ)

初回奈多フェニックス松本投手は、奈多サンデーズの一、二番を三振に切るなど上々の立ち上がりを見せた。その裏、フェニックスは二死から四球のランナーを四番安藤選手がレフトオーバーを放ち一気にランニングHRを狙いホーム突入を試みるも、サンデーズの守備が絶妙な中継プレーを見せホームタッチアウトの1点止まり。続く二回裏、サンデーズ砂場投手が突如制球を乱し無死満塁のピンチを招く。ここで好投のフェニックス松本選手が満塁HRを放ち、一気に主導権を掴む。その後、西藤選手もHRを放ち、この回大量5点を挙げる。サンデーズは、松本投手の前に散発3安打無得点と元気なところを見せられず完敗。今回はフェニックス松本投手が投打に大活躍を見せ、良い試合の一つとなったことでしょう。(記事、写真: 奈多クラブ 今林祐将)



見事な完封勝利！フェニックス松本投手。



サンデーズ先発の砂場投手。



一回裏、左越え三塁打のフェニックス安藤選手。



強打者揃いのフェニックス打線。



セフティーバントを試みるサンデー宮口選手。



サンデー木下選手対フェニックス松本投手の対決。



強豪サンデー打線を0点に抑えたフェニックスバッテリー。

第6週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第6週、5月21日は3試合が行われました。

青松園Aの三友クラブ対雁の巣ライナーズ戦は、序盤三友クラブ3点リードで迎えた四回表、無死満塁のピンチをライナーズ有馬、明瀬（航）バッテリーが無失点に抑えたところから一気に流れがライナーズへ。逆に無死満塁のチャンスを活かして逆転したライナーズは、五回表に三友クラブ松尾選手の2本目のHRなどで逆転を許すも、最後はライナーズ宇野選手が四番の仕事を果たすサヨナラ2ランHRで5-6xの逆転勝利。三友クラブの投手交代のタイミングを逃さず久岡投手を攻略したライナーズに拍手。

奈多グラウンドの和白新町パイレーツ対塩浜ジャガーズ戦は、前回三球会相手に五回までノーヒットに抑えたジャガーズ立石投手だったが、初回からパイレーツ打線に掴まり9失点。逆にパイレーツ吉田投手はジャガーズ打線を2安打無失点に抑え9-0でパイレーツの勝利。試合の波に乗るために立ち上がりでつまづかないことが

大事。

青松園Bの奈多サンデーズ対奈多フェニックス戦は、初回からサンデーズ砂場投手に襲い掛かるフェニックス打線は、11安打を浴びせ8点を奪うと、松本投手は打っては満塁弾、投げては2試合連続完封と大活躍だった。サンデーズは怪我人などでなかなかベストメンバーが組めない苦しい試合が続く。

五月晴れが続く最高な季節に一つでも勝ち星を稼ぐことが梅雨、真夏へと体力が落ちていく季節に弾みをつけるコツですね。